

第 2 5 代
専 如 門 主

ご巡回
ご巡拝



第236号

発行所
札幌市中央区北3条西19丁目
(郵便番号 060-0003)
北海道教区教務所
電話 011-611-9623
編集 北海道教区教務所
発行人 黒田 正宜

詳細は P8に掲載しております。

第25代専如門主

法要スローガン・法要ロゴ

うけつぐ伝灯
伝えるよろこび



第25代専如門主 伝灯奉告法要

The Commemoration on the Accession of the Jodo Shinshu Tradition to the 25th Monshu Sennyō

法要期日

2016(平成28)年
第1期 10月1日(土)～ 8日(土)
第2期 10月20日(木)～ 27日(木)
第3期 11月4日(金)～ 11日(金)
第4期 11月18日(金)～ 25日(金)



2017(平成29)年
第5期 3月7日(火)～ 14日(火)
第6期 3月28日(火)～ 4月4日(火)
第7期 4月11日(火)～ 18日(火)
第8期 4月25日(火)～ 5月2日(火)
第9期 5月9日(火)～ 16日(火)
第10期 5月24日(水)～ 31日(水)

浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺

TEL 075-371-5181(代) ホームページアドレス <http://www.hongwanji.or.jp>

「寺院消滅の時を迎えて」～超高齢社会における教化活動～

北海道教区僧侶研修会・第3回布教使研修会 開催報告

去る、2015(平成27)年12月10日(木)教化センター札幌別院において、実践運動北海道教区委員会 僧侶研修部会並びに北海道教区布教団主催のもと、標記研修会が「寺院消滅の時を迎えて」～超高齢社会における教化活動～と、題し参加者32名で開催されました。

当研修会は、超高齢社会の現状を把握し、過疎・過密地域それぞれの寺院が抱える問題点を考えていくなかで、今後の教化活動をどうのように行うか考える研修会として実施されました。

開会式後、僧侶研修部会アドバイザーの北塔光昇和上(上川南組正光寺住職)より「地方、寺院の消滅と、教化活動や法の相続が困難となる時代が到来する。無住寺院の増加、消滅可能性都市にある本願寺派寺院は三千余、実に32%が消滅する可能性がある。空き寺になってしまふ危険性、倒壊による人身事故や宝物の盗難等、ただ寺に人がいないだけでなく、犯罪の温床になる可能性が考えられる。そういったこともお含みいただき、本日の研修を受けていただ



きたい」と当研修会の趣旨、超高齢社会の問題点等をお話しいただきました。

次に、「過疎地域」「都市部・過密地域」「その中間の地域」それぞれの寺院の現況報告を行っていただきました。

まず「中間の地域」として、七飯町宣法寺の渡邊春龍住職より

「過疎化が進むのと同時に若者も減り、出生が少なくなっていくことを憂慮している」と報告があり、次に過疎地域の寺院として鶴居村西光寺の八村弘隆住職から「葬儀に関しては、所属の門徒であつても禅宗のホールを使う。釧路組の常例法座の減少。そういった宗教関係の問題と実際の運営に関する問題。経済的な基盤の確立をどうするかが悩み」とお話いただきました。最後に都市部寺院として江別市真願寺、石堂了正住職が「葬儀に際し、セレモニーホールを使用されることが多くなった。何とかお寺を使用してもらう為に努力して、実際にお寺での葬儀が増加した。言い続けていくことの大切さを実感している。江別も15万人都市を目指していたが、3年前から人口が減少しはじめ、現在は





12万人程度。まずはお寺に人が来てくれる方策を考えていく必要がある」と実際の取り組みも含め、報告いただきました。

続いて、僧侶研修部会の忍関崇部長（日高組崇徳寺住職）をコーディネーターに、報告をいただいた3名をパネラーに、北塔和上を助言者としてパネルディスカッションを行いました。門信徒が団塊の世代や、さらに若い世代になつていく中での変化、法務や葬儀を取り巻く環境の変化、お寺や住職が積極的に町に出ていく大

切さなど、それぞれの立場から意見を述べられ、中身の濃いディスカッションとなりました。

ディスカッション終了後、4班に分かれて話し合いを行い、人口と月忌参りの減少、それに対応すべく地域への貢献など参拝者や月忌参りを増やす努力を各寺院が行っており、その具体的な内容についての話し合いがなされました。

- ・自分の得意分野から接点を持ち教化活動をしている。
- ・離郷門徒の集いの開催。
- ・葬儀社への指導や、葬儀の意義についての丁寧な説明が求められている。

- ・入門式等を行い、門徒の自覚を促すなど必要かと思われる。
- ・人を集める、お寺に来てもらうにも、目的をどこに置くのかが重要。
- ・寺院消滅は当然のことだと思われる。どのように生き残るか、一般の企業では当然の生存戦略がようやく寺院にも必要とされ

ている。

- ・寺院での葬儀を増やすため、経費が少なくなることをアピールしている。
- ・常例の際には地区ごとに当番を決め、食事を出している。デイサービスや福祉に近い観点である。今後はこのような取り組みも必要ではないか。
- ・坊守の寺院活動への参加を増やす。

（以上、各班報告抜粋）

班別の発表終了後、北塔和上がまとめとして

「今までの研修ではこのような話し合いはなかったように感じただけだ。正直にお寺の現状を話していただけた。かつては住職から収入や檀家数を話すことはありえなかった。そういう意味では大変すばらしい研修となった。こんなに本音で包み隠さず話をして、この人もこうなんだというのが共有できた。毎年この時期にできるかどうかは分からないが、来年にはこの研修会で受けた刺激を自分の

中でどう展開し、実行したのかを伝えられる。それがないと進歩になつていけないし、どう変わったかが、大事になつていく。是非この研修会が続いていくようお願い申し上げます、まとめのお話しとさせていただきます。」（一部要約）とお話くださり、全日程を終了いたしました。

来年度以降も継続して開催し、今後の寺院活動、教化活動に役立てるような研修会を僧侶研部会にて企画したいと考えております。



寺院子弟交流会開催

去る、2016(平成28)年2月6日(土)～7日(日)に北海道教区実践運動寺院活動支援部主催による、『寺院子弟交流会』が参加者12名(参加者6名、スタッフ6名)にて開催いたしました。

約20年ぶりとなるこの交流会は、教区内の寺院子弟が一堂に集い、団体での活動や生活を通して交流を深め、仲間づくりを行うことを目的として開催いたしました。開会式後、自己紹介をして、それぞれニックネームと班長決めを行い、和やかな雰囲気の中か雪ま



つりへと出かけました。

雪まつりへは公共の交通機関を使用しましたが、地下鉄など普段乗りなれないものに乗ることもでき、参加者は喜んでいました。

つどむ会場ではチューブスライダー、まと当て等を楽しみ、その後屋内に入り体を温めました。夕食は焼肉食べ放題で、参加者は各々好きなお肉やデザートなど注文していました。参加者の1人が誕生日ということもあり、みなでお祝いもしました。入浴後、別院に帰り、基本作法と荘厳について

の学びを深めました。普段から基本作法を実践している参加者ではありませんが、作法の意味の在り方を聞き、改めて理解しているようでした。

2日目は全員でお晨朝に参拝することから始まりました。

その後、朝食をとり、ゲームで体を温めた後、念珠づくりを行いました。初めての念珠づくりで各々夢中になって作成していました。

最後に感想文を書き、閉会式を行い来年も再会しようという約束し、終了しました。

来年度も開催予定ですので、ぜひご参加下さい。

以下に、参加者の声を抜粋して掲載いたします。



お念珠づくりは意外と難しかったです。友達もできたので、来年も参加したいです。

誕生日を祝ってもらってうれしかったです。

最初は人数が少なくておどろきましたが、いい思い出を作れた寺院子弟交流会でした。

来る前はどんな人が来るのかもわからなくて、少し心配でしたがなんと6人。各地から来てましたが、年い関係無くまた、お寺の子ということで話が合い全員と仲良くなりました。

原発被害現地学習会 相馬組追悼法要報告

去る、2016(平成28)年3月4日(日)福島市内におきまして、北海道教区原発被害現地学習会が参加者9名で開催されました。

まず、福島市民会館にて以前教区ボランティア養成研修会に出講いただいた佐々木宗隆さんに「現状を知る」ということでお話しいただきました。

除染作業に慣れてしまい、除染を行ったら安心と思っている県民意識の低下や学校教育で原発が安全であるかのような指導が行われているなど、現地でなければ聞か



ことができない話をしていただきました。

その後、福島市内にある除染土の仮置き場を視察し、町中にもそのような施設があることに驚かされました。

最後に、福島県富岡町の方々が集まる「富岡町さくらサロン」へ行きました。富岡町は東京電力の福島第2原発がある街で、現在は「帰還困難地域」「居住制限地域」「避難指示解除準備区域」に指定されているところです。今回お話しいただいた三瓶さんは、震災前の富岡町の様子と現在の富岡町の様子を写真を使ってお話くださいました。現在の街の写真が

出ると、富岡町の方々も人気のない街の様子を寂しそうに見ていました。その後、北海道から持参したお菓子と牛乳で懇談の形をとり皆さんにお話を伺うと、富岡町の話から次第に国や東京電力への怒り等を吐露されていきました。最後には「宗教者として、国へ現状を訴えてほしい」「津波から逃げるのときに見捨ててしまった方々への精神的負担が今でも大きい」など、僧侶として答えを求められる場面もありました。

参加者一同、被災地の生の声を聴かせていただき、緊張感のある研修会となりました。

次の日は相馬組勝縁寺へ追悼法



要の出勤並びに炊き出しを行いました。炊き出しには仏教婦人会総連盟の評議員の方々6名にもお手伝いいただき、ホットミルクと甘酒を提供させていただきました。

参拝者が例年減ってきていることを相馬組内のご住職に伺うと「生活の安定とその反対に震災関連死も増え、追悼の意味合いが変化してきている」とお話しくださいました。

震災から5年が経ちましたが、報道でなされないような話や被災地の人々の意識の変化など現地で学びを深めることで、まだまだ復興への支援が必要であると感じた研修会でした。

第27回温泉説法の集い開催

去る2016(平成28)年2月26日(金)から翌27日(土)にかけて、北海道青年僧侶協議会(荒井成道会長)主催による第27回温泉説法の集いが開催されました。

「温泉説法」は毎年全道各所の温泉地にて開催されており、心と体のリフレッシュを合言葉に、道内寺院の若手僧侶にて企画されています。また、布教の新たな形を模索する、ということでも様々な取り組みが行われています。

今年の開催地は十勝川温泉のホテル大平原で、各地の寺院より約280名の参加がありました。

1日目は若手僧侶の大喜利や、僧侶による衣体のファッションショー等が行われ、参加者からは

笑顔が絶えませんでした。また、参加寺院に地元名産品を持ち寄っていたいただき、懇親会の折に抽選で配られ、当選した方々は大喜びの様子でした。

2日目には寺族青年、仏教青年会員による朗読説法がおこなわれました。昨年はドラマ「北の国から」がモチーフとなっていました。今年も映画「男はつらいよ」を元としたストーリーで、仏教のみ教えを味わう朗読説法となりました。

その後、後志組明善寺の鹿谷賢純さんによるご法話があり、引き続き閉会式が行われ、全日程を終了いたしました。

参加者は心と体をリフレッシュすることができたようで、皆さん笑顔で帰路についていました。

仏教青年連盟よりお知らせ

2016(平成28)年10月9日(日)『仏教青年連盟結成50周年記念の集い』が開催されます。

仏教青年連盟は昭和41年に結成され、より多くの世代に浄土真宗を広めるために設立されました。

15年程前までは1000名規模の全国大会が開催されておりましたが、近年は300名前後の大会に留まっています。

この度の大会ではテーマを「温故知新」とし現仏青会員だけでなく、これまで仏青にご縁のあった方々、この大会がきっかけとなる方々が対象です。

北海道教区におきましても約30年前にニセコで開催された全国大会や一昨年度開催した全国大会など仏教青年連盟に関っていたいた方々が多くいらつしゃいます。そのような方々にも久しぶりにお声がけいただき、みなさんで仏青の大会に参加しませんか？

浄土真宗本願寺派

「仏青のすべてを
温故知新」
COMING SOON
知
新

浄土真宗本願寺派仏教青年連盟
結成50周年記念の集い

2016年10月9日

会場：京都 西本願寺 仏青連盟

参加対象は

あなたです!!

子ども・若者ご縁づくり

2016年度北海道教区「子ども・若者ご縁づくり」推進委員会では、下記の公開講座を開催いたします。

イマドキ思春期の悩みとモヤモヤ 思春期・若者を知るための公開シンポジウム



今回の公開シンポジウムは一般的な「常識の押し付け」や「こうあるべき」という指導をするものではありません。浄土真宗本願寺派が、生きづらさを抱えた若者への取り組みを始めたことを社会に向けて発信し、且つ宗派内に向けては、私たちの「子ども・若者についての意識と行動」に変化を及ぼしていくことを目的としています。

私たちはそれぞれ周りの人と違った性格や性質を持っています。しかし、知らず知らずのうちに、「大多数」「標準」だと思える方に自分を合わせ、所属させて、自分は「普通なんだ」と自らの居場所を作っているようです。そのようにして、周りとは違うこと、周りに無理に合わせることに悩み、痛みを誰にも認められず生きづらさを感じている若者がたくさんいます。思春期の悩み、苦しみの一因が、「普通はこうである」という多数派の決めつけにあるなら、浄土真宗のみ教えに生きる私たちが、全ての人の幸せを願う本来のあり方とは裏腹に、苦しめる側に立っていたのではないかという反省が、この浄土真宗本願寺派としての取り組みの背景のひとつです。

日時：2016(平成28)年6月6日(月) 15:00～

会場：教化センター札幌別院(札幌市中央区北3条西19丁目2-1)

対象者：興味あるすべての方々

キッズサンガ活動はおわったのですか？

終わったわけではございません！！「子ども・若者ご縁づくり」とは、若者へだけ「ご縁づくり」をしていくものではないのです。今まで通り、各教化活動にてご縁をつないでいく事はもちろんですが、これまでご縁をつないでいく事が難しかった若者へのアプローチをも、今一度共に考えていきましょうというものです。

各世代ごとにそのご縁を「つくり」、「つなぎ」、「深める」事は、未来の仏婦、仏壮ひいては総代を担っていただける方へとつながっていくのではないのでしょうか？

【各組へのお願い】

推進サポーターの推薦
組長、他2名
(僧侶、寺族、門信徒より)

【各教化団体へのお願い】

推進サポーターの推薦
代表者1名をサポーターへ推薦
してください

2016年度よりさらなる体制の充実を図り、北海道教区でも体制を整えてまいります。
というものです。

- ③ これまで縁のない若者へも積極的にアプローチをしていく
- ② ご縁のある子どもたちとの縁をさらに深める活動の展開
- ① キッズサンガ活動のさらなる推進

昨年度より、キッズサンガをさらに展開していくために宗派では『子ども・若者ご縁づくり推進室』を設置しました。
その目的は

○北海道教区ご巡回・直属寺院ご巡拝日程

この度、法統を継承された第25代専如ご門主様が北海道内の別院をご巡拝されます。

6月28日(火)江差別院

6月29日(水)函館別院

6月30日(木)小樽別院

7月1日(金)札幌別院

7月8日(金)帯広別院

どうぞ各崇敬別院へお参りください

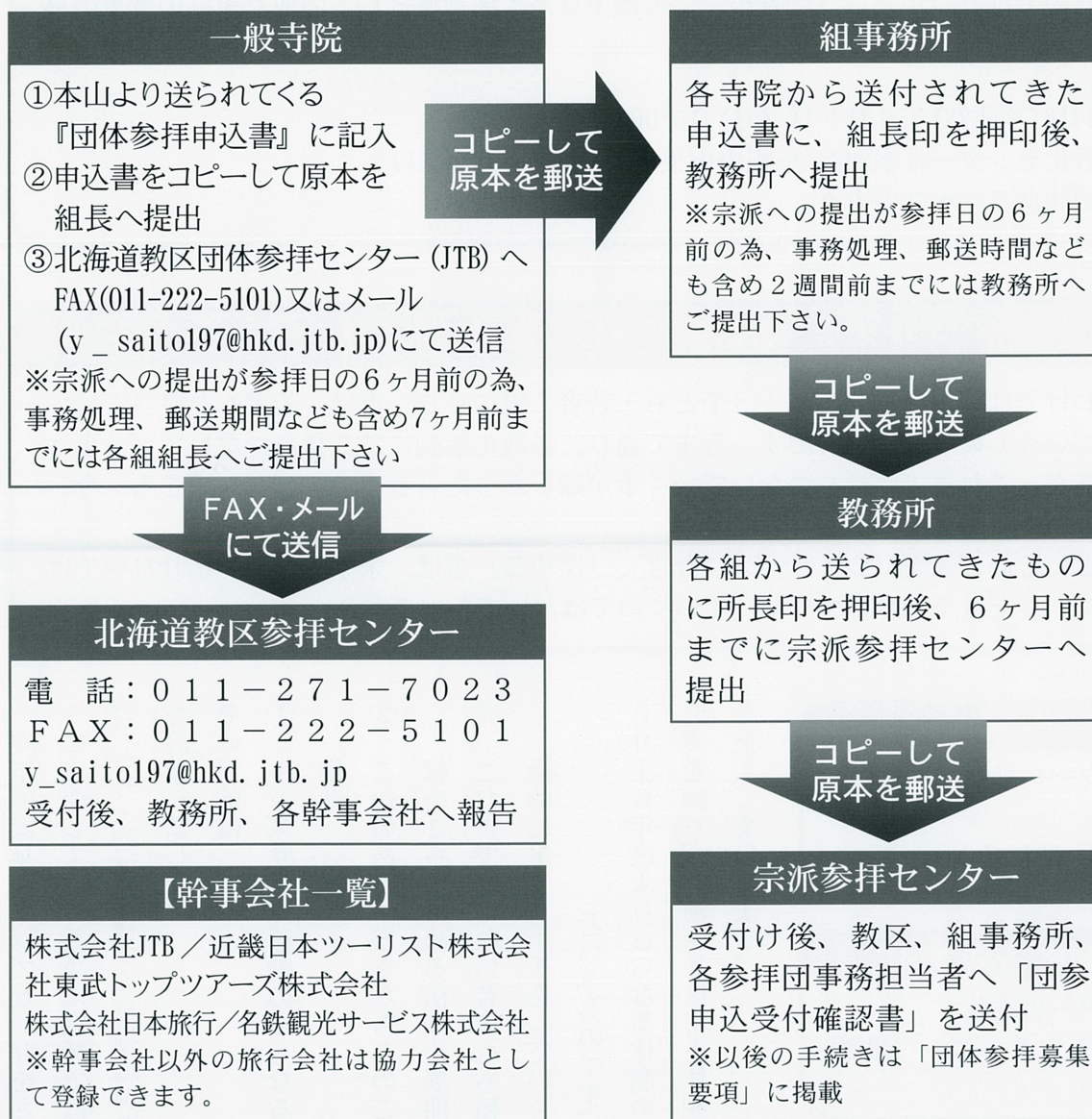
○各教化団体伝灯奉告法要にかかる諸行事(予定)

スカウト指導者会参拝…2016年10月8日 仏教青年会50周年記念行事…2016年10月9日

仏教壮年会連盟役員参拝…2016年10月22日 仏婦総連盟総会・参拝…2017年4月4日

保育連盟全国大会…2017年7月下旬予定

○伝灯奉告法要団体参拝お申込みの流れ(各法要期の6か月前までにお申し込みください)



伝灯奉告法要に向けて

2016年度北海道教区 得度習礼講習会開催について

2015(平成27)年4月1日以後に得度習礼を受けようとする方は、事前の「得度習礼講習会」受講が義務化されました。この講習会は得度習礼を受講する方を対象に、事前に僧侶としての心構えと基礎的な知識や技能を習得していただきたく、1泊2日の日程で開催いたします。

【開催日】 第1回 2016(平成28)年5月14日(土)～15日(日)
第2回 2016(平成28)年9月13日(火)～14日(水)
第3回 2017(平成29)年3月9日(木)～10日(金)

※第1回目のみ土日開催です。

※修了書の有効期限は3年なので、早めの受講をお勧めします。

※受講希望の方は、教務所までご連絡下さい。

教師規定の一部変更について

宗報で周知の通り、このたび、教師規程の一部が変更され、教修は従来通りの10日間連続教修(通期教修)を受けることを基本といたしますが、10日間連続の日程では教修を受講できない教師授与希望者にも対応するため、前期(5日間)・後期(5日間)に分割した教修(分割教修)を新たに設定いたします。

4月	【通期】 2016(平成28)年 4月11日(月)～4月20日(水)	一般	80名	2016(平成28)年 3月2日
5月	【前期】 2016(平成28)年 5月7日(土)～5月11日(水)	一般	80名	2016(平成28)年 3月28日
7月	【後期】 2016(平成28)年 7月24日(日)～7月28日(木)	一般	80名	2016(平成28)年 6月14日
8月	【通期】 2016(平成28)年 8月20日(土)～8月29日(月)	一般	80名	2016(平成28)年 7月11日
9月	【通期】 2016(平成28)年 9月18日(日)～9月27日(火)	一般	80名	2016(平成28)年 8月9日
10月	【前期】 2016(平成28)年 10月12日(水)～10月16日(日)	一般	80名	2016(平成28)年 9月2日
1月	【後期】 2017(平成29)年 1月27日(金)～1月31日(火)	一般	80名	2017(平成29)年 12月18日
3月	【通期】 2017(平成29)年 3月18日(土)～3月27日(月)	卒業期 (大学・仏教学院)	80名	2017(平成29)年 2月6日

北海道誌

【報告】

- 1月13日 組長会・教区会御正忌参拝
- 18日 教団連合拡大委員会
- 19日 第7回同朋学習プログラム作業部会
- 20日 僧侶研修部会法務部門会議
- 21日 キッズサンガアドバイザー会議 僧侶研修部会教務部門会議
- 25日 「重点プロジェクト」実行部会
- 25日 教区実践委 第6回常任委員会
- 26日 第2回 組長会
- 28日 連研のための研究会(坂原英見氏)
- 31日 仏婦連盟常任委員研修会(函館市～2月1日)
- 2月1日 第一連区職員研修会(仙台別院)
- 5日 宗派実践委 中央委員会
- 5日 保養相談会(福島県)
- 6日 寺院子弟交流会(札幌市内～7日)
- 13日 スカウトクラブ 役員会
- 18日 第2回常例縦協議会 第8回同朋学習プログラム作業部会
- 19日 本願寺派・大谷派教務所職員交流会
- 22日 教区保育連盟 理事会
- 25日 教区実践委 第7回常任委員会
- 26日 温泉説法の集い(十勝川温泉～27日)
- 3月7日 宗教者懇談会(真宗大谷派教務所)
- 8日 第2回常備会
- 8日 第4回得度習礼講習会(～9日)
- 10日 教区布教団 役員会・団長副団長会議
- 11日 ビハークラ理事会・ビハークラ講座
- 12日 仏青連盟 役員会
- 14日 連研履修者・門徒推進員研修会(温根湯)
- 16日 同朋学習プログラム 第9回作業部会
- 22日 教区門徒総代会 常任幹事会
- 24日 仏社連盟 理事会
- 25日 定期教区会
- 26日 スカウトクラブ仏教章修得研修会(～28日)
- 28日 少年連盟 リーダー研修会(～29日)
- 29日 教区実践委 第8回常任委員会
- 29日 教区実践委 委員会(総会)

30日 教区 組長会

【予定】

- 4月
 - 11日 重点プロジェクト実行部会
 - 14日 若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム実行部会
 - 26日 ご縁づくり推進マネージャー会議
- 5月13日 真宗教団連合第44回研修会(大谷派教務所)
- 14日 第1回得度習礼講習会(～15日)
- 30日 教区(第一連区)布教使研修会(～31日)
- 6月6日 思春期学講座(教化センター札幌別院)
- 28日 本願寺江差別院ご巡拝
- 29日 本願寺函館別院ご巡拝
- 30日 本願寺小樽別院ご巡拝
- 7月1日 第25代専如門主北海道教区御巡回 本願寺札幌別院ご巡拝
- 8日 本願寺帯広別院ご巡拝

伝灯奉告法要日程

- <第1期> 10月1日～8日
- <第2期> 10月20日～27日
- <第3期> 11月4日～11日
- <第4期> 11月18日～25日
- <第5期> 3月7日～14日
- <第6期> 3月28日～4月4日
- <第7期> 4月11日～18日
- <第8期> 4月25日～5月2日
- <第9期> 5月9日～16日
- <第10期> 5月24日～31日

※日程に関しましては変更になる場合がございますのでご了承下さい

北海道教区常例布教日程(予定)

敬称略

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I	
(東京教区・千葉組・大願寺) 末田 雅裕	(滋賀教区・甲賀組・報恩寺) 九條 孝義	(北海道教区・根室組・正光寺) 鈴木 将弘	(北海道教区・留萌組・信楽寺) 吉川 昭恵	(北海道教区・後志組・無量寿寺) 朝山 明彦	(安芸教区・山県太田組・安養寺) 小林 邦頭	(北海道教区・空知北組・西林寺) 小林 義教	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 法順	(北海道教区・函館組・宣法寺) 渡邊 龍誠	(四州教区・飯山南組・源正寺) 片山 英道	(北海道教区・十勝組・妙法寺) 石田 智秀	(山陰教区・三隅組・妙蓮寺) 小原 静也	(北海道教区・三隅組・妙蓮寺) 小林 義教	(北海道教区・空知北組・西林寺) 山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道	(北海道教区・十勝組・誓願寺) 頓宮 彰玄	(山陰教区・三隅組・妙蓮寺) 小原 静也	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行	(備後教区・沼隈西組・正圓寺) 石川 知全	(大阪教区・豊中南組・誓覚寺) 宮部 誓雅	(北海道教区・空知北組・西林寺) 小林 義教
(東京教区・茨城東組・清心寺) 増田 廣樹	(安芸教区・佐伯東組・長福寺) 石田 博文	(北海道教区・留萌組・西暁寺) 藤 法順	(四州教区・飯山南組・源正寺) 片山 英道	(山口教区・美和組・超専寺) 村田 亜紀	(北海道教区・札幌組・寛英寺) 黒田 顕城	(山口教区・岩国組・教法寺) 山口教区・三隅組・妙蓮寺) 頓宮 彰玄	(北海道教区・京仲組・正山寺) 小原 静也	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行	(備後教区・沼隈西組・正圓寺) 石川 知全	(大阪教区・豊中南組・誓覚寺) 宮部 誓雅	(北海道教区・空知北組・西林寺) 山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道	(北海道教区・十勝組・誓願寺) 頓宮 彰玄	(山陰教区・三隅組・妙蓮寺) 小原 静也	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行	(備後教区・沼隈西組・正圓寺) 石川 知全	(大阪教区・豊中南組・誓覚寺) 宮部 誓雅	(北海道教区・空知北組・西林寺) 山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道	(北海道教区・空知北組・西林寺) 山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道	(北海道教区・空知北組・西林寺) 山口教区・岩国組・教法寺) 筑波 敬道
(北海道教区・十勝組・妙法寺) 石田 智秀	(東北教区・宮城組・清林寺) 前田 至正	(北海道教区・空知北組・円満寺) 金龍 之哉	(北海道教区・釧路組・西光寺) 八村 弘隆	(岐阜教区・飛騨組・真光寺) 森下 広大	(鹿兒島教区・東隅組・願成寺) 藤 清道	(福岡教区・御笠組・願成寺) 中川 一晃	(福岡教区・御笠組・願成寺) 中川 一晃	(熊本教区・託麻組・良覚寺) 吉村 隆真	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土 昌行	(四州教区・今治組・万福寺) 浅野 執持	(北海道教区・後志組・無量寿寺) 朝山 明彦	(兵庫教区・北摂組・廣宣寺) 門中 浄光	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺 雅俊

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。